

58 継子の毒入り弁当

人にはわからないように殺そうと思ってね、おにぎり作ってあげようとしたら、あの、二つ作ってあつた。自分の子にもあげるものあるでしょ。また、神様あれしたかな、子どもがしたかなあ、毒の入ったものを自分の子どもが食べてよ、本当のものをまた継子が食べてからに。自分の子どもが亡くなって、また、継子は生きていたから。これも、

「おにぎりはどれ食べたか。どっちのもん食べたか」と言うたから、

「こっちのもん、兄さん取りよつたから、自分はまた別のものを取って食べた」と言うたから、これもびつくりしてよ、あれから継子いじめは良くなっているつて。あの後からは継子いじめが良くなった話だった。